

海の道むなかた館オープニングイベント概要

1 施設の基本コンセプト

⇒①歴史文化継承のための中核施設、②市民と協働し、連携する地域還元型施設、③市域の自然や歴史文化を結ぶコア施設、④世界遺産・宗像遺産ガイダンス施設

2 施設づくりのテーマ

⇒「海の道」

3 オープニングイベントのねらい

⇒①市民や観光客への施設及びその機能の紹介とリピーターづくり、②期間中の施設のにぎわいと楽しさの現出、③域外への情報発信

4 実施期間

⇒平成 24 年 4 月 28 日（土）～5 月 6 日（月）（平日を除く 7 日間）

5 イベント構成（イメージは「過去、現在、近未来」）

⇒①展示コーナー（特別展示、企画展示、常設展示、3Dシアター）、②キッズ体験コーナー、③「海の道」特別講座、④宗像遺産バスハイク&ウォーク、⑤特設ステージイベント、⑥グルメコーナー、⑦森口博子トークショー

6 期間中の来館者目標

⇒15,000～20,000人

7 実行組織

⇒市及び関係団体等で実行委員会を組織する。

8 広報

⇒①4/15号市広報（イベント情報、特別講座・バスハイク参加者募集）②4月上旬イベントポスター掲示④イベントちらし新聞4紙4/24差込み10万枚（宗像市・福津市・古賀市・岡垣町・宮若市）、道の駅来館者配布⑤春のキャンペーンパンフ3万部（イベント情報）

9 メニュー内容

項目	メニュー	内容
展示コーナー	特別展示	沖ノ島祭祀前夜
	企画展示	玄界灘の漁労具
	常設展示	宗像の歴史
	3Dシアター	沖ノ島
キッズ体験コーナー	勾玉づくり	4/29～5/6
	火起こし	4/29～5/6
	機織	4/29～5/6
	古銭鋳造	4/29～5/6
	土器立体パズル組立て	4/29～5/6
	ロボット操作	4/29～5/6 ロボリア、番竜操作体験
	トヨタものづくり教室	4/29、30
特別講座	「海の道」	期間中毎日1回、全7コマ ① 4/28 海の道館長 西谷正 ② 4/29 市史跡保存整備審議会 石山勲 ③ 4/30 県教育委員会 國生知子 ④ 5/3 福岡大学名誉教授 小田富士雄 ⑤ 5/4 福岡教育大学教授 亀井輝一郎 ⑥ 5/5 宗像大社神宝館学芸員 河窪奈津子 ⑦ 5/6 九州国立博物館長 三輪嘉六
バスハイク	世界遺産構成資産、宗像探訪	5/3 各1回、バス1台40人、世界遺産 5/4 各1回、バス1台40人、宗像遺産
ウォーク	鎮国寺「護摩供」と国重文「木造不動明立像」ご開帳	4/28 「木造不動明立像」ご開帳 10:00～ 「護摩供」 13:00～14:30 鎮国寺内にガイド配置
	宗像大社国宝探訪	4/29～5/6 むなかた館から大社境内地及び神宝館にガイド付きで案内
ステージイベント	元気ステージ	4/29～5/6 11:00～14:00 音楽、ダンス、盆踊外
	米軍海兵隊マーチング	5/4 14:00～
	森口博子トークショー	4/28 15:00～30 (雨天時館内)
グルメコーナー	グルメコーナー	4/28～5/6 8店舗程度

※ (展示以外は、5/1、5/2は実施しません)